

みなとみらい線新制服 10月1日着用開始！ -港・未来をイメージした、岩崎学園学生による新デザイン-

みなとみらい線を運行する横浜高速鉄道株式会社（横浜市中区 代表取締役社長 鈴木 伸哉）は、みなとみらい線開通15周年を記念し、2019年10月1日（火）より新制服の着用を開始いたします。

このたびの新制服は「学校法人岩崎学園 横浜fカレッジ」（横浜市西区 学校長 岩崎有紀子）と連携し、在校生のデザインを採用・日本ユニフォームセンター監修のもと完成したものです。着用開始に先立ち、2月2日に開催した周年イベント内では新制服発表会を開催し、お披露目いたしました。

海をイメージした青を基調とした配色、そして未来を感じさせる特徴あるデザインは、新しいみなとみらい線の制服として相応しい装いとなっています。

新たな制服で、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

新制服デザイン



左：冬制服（左から男性一般、駅長制服、女性一般）
ジャケットには海をイメージさせる青の配色。
帽子や釦の金色がアクセントとなっています。

中央：夏制服（左から男性一般、女性一般）
シャツのポケットのフラップは波型。
女性制服にはキュロットと、スカーフ
（イベント時のみ着用予定）を初めて採用します。

右：新しく導入したイベント用の駅長制服